



臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2025/09/11

研究課題名	腰椎固定術後の患者自己調節性鎮痛における、モルヒネ静脈内投与とフェンタニル静脈内投与の、効果の違いに関する後ろ向き研究
研究の対象	2024年7月～2027年3月に当院で腰椎固定術を受けられた方
研究目的・方法	<p>腰椎固定術後の疼痛はコントロールが難しく、患者にとっては大きな問題となります。また、疼痛による離床の遅れは、術後合併症の増加やADLの低下につながります。従来当院では、腰椎固定術後の鎮痛を、フェンタニルの静脈内投与による患者自己調節性鎮痛 (Patient Controlled Analgesia : PCA) で行ってきましたが、やはり鎮痛には難渋していました。2025年より、フェンタニルの出荷制限が生じたため、当院ではPCAに使用する薬剤をフェンタニルからモルヒネへと変更しました。モルヒネへの変更後、術後回診時に腰椎固定術後の患者の疼痛が軽減している印象を受けます。この研究を行うことにより、腰椎固定術後の術後鎮痛における、フェンタニルとモルヒネの効果の違いを明らかにし、今後腰椎固定術を受ける患者の術後疼痛コントロールが改善される可能性があります。</p> <p>研究期間：許可日～2027年3月31日</p>
研究に用いる試料・情報の種類	フェンタニルとモルヒネの iv-PCA 有効投与量、フェンタニルとモルヒネの iv-PCA 総試行回数、他の鎮痛薬使用状況等
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867 研究責任者：田附興風会医学研究所北野病院 麻酔科 副部長 至田雄介</p>